

研究課題名	ICU に入室した敗血症患者の退院時日常生活動作能力に関連する因子の検討 -早期離床と早期栄養投与の組み合わせに着目して-
研究の意義・目的	集中治療室に入室した患者さんに対して、早期にベッド上でのストレッチやポジショニング、可能な範囲での離床等のリハビリテーションを行うことと、早期に栄養投与を実施することが退院時の動作能力に影響するかどうかを研究します。 集中治療室に入室された患者さんの改善する要素が何か分かる可能性があります。 本研究は、医誠会国際総合病院の電子カルテのデータを遡り、抽出します。抽出したデータは大阪公立大学とデータを共有し、解析を実施します。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~2026年3月
研究協力をお願いしたい方 (対象者)	2020年4月から2024年3月に医誠会病院および医誠会国際総合病院の集中治療室に入室した方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせて いただく試料・情報 等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 ①基本情報：生年月日、性別、既往歴、合併症 ②身体所見：身長・体重・BMI ③臨床検査結果：血球数、C反応性蛋白、血清アルブミン値 ④その他観察項目 SOFA スコア、せん妄の有無、経腸栄養もしくは経口摂取の開始の有無、理学療法士の介入の有無、工呼吸器装着日数、ノルアドレナリン投与日数、CHDF 施行日数、20kcal/kg 日以上のカロリー投与かつ 0.8g/kg/日以上 of 蛋白投与の有無、端坐位実施の有無、Berthel index、MRC スコア
試料・情報の 提供を行う機関の 名称及びその長の 氏名 (提供元について)	機関名：医療法人医誠会 医誠会国際総合病院 機関の長の氏名：峰松一夫
提供する試料・ 情報の取得の方法	診療の過程で得られた診療情報
提供する試料・ 情報を用いる研究に 係る研究責任者	研究代表者： 公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科 救急医学 上羽伸哉
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	以下の機関が御提供いただいた情報を本研究に利用いたします。 【研究代表者】 公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科 救急医学 上羽伸哉 【共同研究機関・研究責任者】 医誠会国際総合病院 リハビリテーション部 上羽伸哉

本研究の 利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。研究対象の方が未成年者、認知症や精神障害、知的障害を伴う疾患を有する方、お亡くなりになられている方の場合は、保護者/家族の方からのお申し出にも対応させていただきます。
連絡先	担当者氏名：上羽 伸哉 電話番号：0570-991666 メールアドレス：rehabili@iseikaihp.or.jp